

2026年2月16日

各位

会社名 Chordia Therapeutics 株式会社
代表者名 代表取締役 三宅 洋
(コード番号：190A 東証グロース市場)
問合せ先 財務部長 岡谷 大
TEL : 03-6661-9543
MAIL : ir@chordiatherapeutics.com

CTX-177 (ONO-7018) のライセンス契約に係る 解約合意書の締結のお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）は、2025 年 4 月 28 日付「CTX-177 (ONO-7018) の開発中止のお知らせ」で公表しました当社の自社創薬パイプラインである CTX-177 (ONO-7018) について、ライセンス供与先であった小野薬品工業株式会社（以下「小野薬品」）より、開発、製造および商業化に関する権利の返還を受けましたが、本日、小野薬品との間で進めてきたデータ移管等に係る協議が完了し、解約合意書を締結しましたのでお知らせいたします。

CTX-177 は、リンパ球系の血液細胞において、その細胞内シグナル伝達に関与することが知られている粘膜関連リンパ組織リンパ腫転座タンパク質 1 (Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma translocation protein 1、以下、MALT1) に対する選択的な阻害剤です。MALT1 の活性化は、リンパ球系の血液細胞のがん化に重要であることが報告されており、CTX-177 は MALT1 の活性を阻害することにより、これらリンパ球系の血液のがんに対する抗腫瘍効果が期待されます。

当社と小野薬品は 2020 年 12 月にライセンス契約を締結しました。その後、小野薬品は、CTX-177 を開発コード ONO-7018 として、米国および日本において、再発または難治性の非ホジキンリンパ腫もしくは慢性リンパ性白血病の患者を対象とした第 1 相臨床試験を実施していましたが、小野薬品の戦略上の理由により開発が中止され、ライセンス契約は終了となりました。

ライセンス契約の定めに従い、これまでに小野薬品が得たデータ等が当社に移管されますが、本日、データ移管に関する手続きや詳細条件に関する協議が完了しました。データの移管は無償で行われ、当社に財務的負担は発生しません。

また、当社と小野薬品で共同出願していた CTX-177 を含む MALT1 阻害薬とその他抗がん薬との



併用療法の用途特許に関しては、当社が単独の出願人になることで合意しており、今後の手続きおよび審査費用等は当社が負担することになります。

小野薬品が実施していた臨床試験については、同社の責任において終了されます。

なお、本件による 2026 年 8 月期の当社業績に与える影響は軽微です。

当社は、今回取得した臨床試験データを最大限活用し、CTX-177 の開発再開に向けた戦略的な選択肢を幅広く検討してまいります。当該パイプラインは依然として高い科学的ポテンシャルを有しております、再導出を含む事業開発の推進により、当社パイプライン価値の一層の向上を目指してまいります。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 CTX-177 に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は、当社ウェブサイト (<https://www.chordiatherapeutics.com/>) をご覧ください。